

メモリアル上映会

〈10月1日(土)〉

- 10:30 24000年の方舟(1986年/33分)
 11:05 奇妙な出来事アトビー(1991年/46分)
 13:00 紙芝居がはじまるよ!(2004年/40分)
 13:45 風ものがたり(1995年/58分)
 15:00 フランドン農学校の尾崎さん(2006年/73分)

〈10月2日(日)〉

- 10:30 もういいかい〜ハンセン病と三つの法律(2012年/143分)

スペシャル上映会 〈10月2日(日) 14:00〉

- 最新作上映! 神戸映画上陸120年記念作品
最後の活動弁士 井上陽一の世界
サイレント映画の華 活動弁士! その魅力と世界を描く
監督/高橋一郎 2016年 カラー
- 弁士・井上陽一の活弁ライブ
水戸黄門 来國次の巻(木戸銭 500円)
痛快ユーモアあふれる物語を弁士・井上陽一が熱く語ります
監督/新井良平 出演/大河内傳次郎 昭和9年 69分

場 所:兵庫県立美術館ミュージアムホール
 参加費:500円(1日券・中学生以上)

※スペシャル上映会は別途料金が必要

問い合わせ:映画製作委員会 TEL078-333-8690



もういいかい〜ハンセン病と三つの法律
100年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた問題作



フランドン農学校の尾崎さん
尾崎さんは有機野菜作り30年。1年を通して有機農法と活動を描く



風ものがたり
自然と人間 都市と農村の共生とは! その原点を見つめる



紙芝居がはじまるよ!
ヤッサンの紙しばいは送り手と受け手のコミュニケーションで成り立つ



奇妙な出来事アトビー
アトビーを通して(本当の豊かな生活)とはなにかを問いつける



24000年の方舟
原発が稼働する限り生まれる核廃棄物。その実態をとらえた作品

兵庫県立美術館 ミュージアムホール

阪神岩屋駅から徒歩約8分、JR灘駅南口から徒歩約10分

「神戸を拠点に映画を発信しよう」と、映画プロデューサーやディレクターらが立ち上げた『映画製作委員会』が30周年を迎えました。処女作「24000年の方舟」では核廃棄物を取り上げ、アトビー、食と農、コミュニケーション、ハンセン病問題と、多様な分野のテーマに取り組み、時代を見つめた作品は観る者に感動と問題を投げかけてきました。

自主製作グループ映画製作委員会 「30周年記念上映会」開催

今回、30周年を記念してこれらの作品を一举に上映する記念上映会が、10月1日・2日に兵庫県立美術館ミュージアムホールで開催されます。上映日は左記の通りです。また、2日にはスペシャル上映会として、同委員会の最新作「最後の活動弁士 井上陽一の世界」と、井上陽一の活弁ライブ「水戸黄門 来國次の巻」も上映されます。

残しておきたい映画がある